

## すっかり明るく綺麗になった武田山ふれあい樹林



史跡だとか、登山道のわきになっている立木の伐採ではなのような山あいの地区である。

暗く繁っている藪を悪戦苦その先に広々とした眼下の展覧。

雑木の藪に潜り込んで、ひい、絡んだ葛を切るといった面白味に欠けるので、どのくまるか心配された。

さいわい、ふたを開けてみるとに配置したチラシや中国新聞の記事を見た一般の応募に加え、祇園商工会の会長をしている桑本事務局長の働き掛けで、広島銀行、信用金庫、企業単位のグループ参加が実現し、の学生で武田山に関心を寄せるメ活するなど、予定を上回るボランティア山ふれあい樹林地区」が見違えるた。

太田川デルタを囲む緑のサーク広島市の指定第1号となった「武地区」は、プロジェクト武田山が担って杉の林と雑木の藪が繁ってツコツと切り開いてきたものだが、が主体のプロジェクト武田山のパワーでは、遅く育つ草木の自然に追われがちである。

しかし、きょうは65名もの力強い応援が得られた。集団の力はさすがで、谷に差し込む光を遮っていた周辺の雑木や暗い藪を一気に切り払うことができ、一帯がすっかり明るくなり、山裾にうず高く積み上げられていた伐採ごみを取り除かれたので、その昔に棚田であった地形が回復し、7段のテラスがきれいに再現された。

斜面一帯に広がって黙々と作業に当たる60名あまりのボランティアと、伐採された雑木を片端から唸りを上げて噛み砕いていくチップング・マシーンの威力で、「武田山ふれあい樹林」のあちこちに積み上げられていた伐採ごみの山が小気味よく処理されていく。

あらためて、多数のボランティア参加によって実現できた人海戦術の凄さと機械を投入した効果を思い知らされる。

安芸の国の守護だった武田氏が、鎌倉時代の末期に築いた中世の山城「金山城」の史跡が残る武田山を、広島市民が気軽に足を伸ばして楽しめる里山にしようと、10年前に地域の有志が語らって結成した「プロジェクト武田山」は、毎年この時期にボランティアを募って武田山の雑木林や登山道を整備している。

ただ、今回のイベントで取り組もうとするのは、山の中腹に点在する金山城の



林立して眺望を遮る壁とく、山の裾にひそむ窪み

闘しながら切り開いても、望が待っている訳ではな

たすら張り出した枝を払地味な作業が求められてらいのボランティアが集

ると、市内の主なポイント

信用組合といったまた、広島経済大学メンバーの活動が復ボランティアを得て「武田山のように綺麗になっ



ル・ゾーンとして、田山ふれあい樹林その管理と運営をいた暗い谷間をロシアのメンバー



さらに、「武田山ふれあい樹林地区」の上を横切る、戦時中に軍が建設したと言われる「木馬（きんま）道」の状況を点検し、テラスの広場を見下ろしながら斜面を斜めに辿って下りる「桑本新道」を新たに設けるなど、「武田山ふれあい樹林地区」をさらに活用する準備にも着手できた。

隅々まで手が入ってさっぱりした「ふれあい樹林」を見渡して、里山の整備がさらに一歩進んだという達成感は得られたが、昼からは時折り小雨がぱらついたりして、冷え込みがひどくなり、懸命に体を動かしている間は汗ばむものの、一息入れようと体を休

めるとたちまちに冷え込んで震えるような日和だった。

嬉しかったのは、三上さんのアレンジによって地元の女性たちが炊き出しをしてくれた白い湯気が立つ「豚汁」で、口の中に広がる暖かさと旨さがなんとも堪えられなかった。